

群馬県藤岡市
中大塚方言の比喩語について

篠木 れい子

はじめに

1. 調査対象地：藤岡市は群馬県の南西部に位置する東西に長い市で、東部は関東平野に連なって市街地が開けており、西部は御荷鉾山を中心とした山間地である。中大塚は市街地と山間部の境に位置する、人口約1000人・世帯数約 300戸の町である。苺・トマトなどの園芸農業を行っている農家が多い。また、繭の生産も盛んである。鉄道は高崎市と八王子市を結ぶJR八高線が通っている。主要道路は国道17号線と 254号線があるが、バスの便は悪く、自家用車の利用がほとんどである。
2. 調査年月日：1992年12月18日 午前10時30分～午後2時
3. 話者：新井 貞さん 大正5年8月4日（76歳） 女性
他に、話者の夫である新井宣蒼さん（藤岡市に隣接する吉井町出身・78歳）に同席していただいた。
4. 調査者・調査場所：篠木 れい子・話者宅の居間
5. 調査方法・調査時の様子：調査表に基づき尋ねる方法。必要に応じて同席者に発言を求めて、話者の参考にしていただいた。始終なごやかな雰囲気の中で調査は行われた。
6. 資料について：与えられた共通の調査項目の番号はそれに従った。それ以外の得られた比喩語については（ ）付きの番号で示した。共通の調査項目については、比喩語でない場合にもその語や表現を記述した。なお、得られた語を話者の孫に当たる新井小枝子（24歳）さんに示して使用の有無を確認し、彼女が用いない場合には〔老〕と記した。この報告書は新井小枝子さんに負うところがきわめて大きい。

I 〈 自然現象 〉

- 1 日照り雨 テンキアメ（天気雨）＜名＞
- 2 入道雲 ①ユーダチグモ（夕立雲）＜名＞ ②カミナリグモ（雷雲）＜名＞
入道雲が出ると、きまっと言っているほど夕立と雷とがくることから。
- 3 旋風 ツムジカゼ（旋毛風）＜名＞
頭のツムジのように回りを回りながら吹く風であることから。
- 4 霜柱 シモバシラ＜名＞
- 5 つらら アメンボー（雨の棒）＜名＞ 〔老〕
雨垂れが凍って棒のようになったことから。

- 6 北斗七星 ホクトシチセー <名> 理解語
 7 昴 スバル <名> 理解語
 8 流れ星 ホーキボシ (彗星) <名> [老]

ホーキボシという彗星を指す方言が多いようであるが、当方言では流れ星を指す。流れる星が放つ光の形が筭の形に見えることから。

II (動物)

- 9 かわはぎ カワハギ <名>
 10 ひらめ ヒラメ <名>
 11 ひきがえる オヒキ (大麩) <名> [老]
 12 青大将 ネズミトリ (鼠捕り) <名> [老・稀]

青大将はよく鼠を捕ることから。

- 13 とかけ カマギッチョ <名> [老]
 14 かまきり ハラタチババー (腹立ち婆) <名> [老]

怒って角を上げた形を、腹を立てているお婆さんに見立てている。

- 15 みずすまし ミズスマシ <名>
 16 きつつき キツツキ <名>
 17 せきれい セキレー <名>
 18 ふくろう トースクボー <名> [老] 鳴き声から生まれた名称。

- (1) 蛇の総称 ナガムシ (長虫) <名> [老]

- (2) くわがた ブー <名> 「のこぎりくわがた」のメス。

丸く太っていて豚に似ていることから。オスはゴショーという。

- (3) くわがた カミキリ (紙切) <名> 「みやまくわがた」のオス。[老]

紙をその角で切ることから。メスはマンガロ。ちなみに、「かみきりむし」はキーキームシという。

- (4) あめんぼ ウマ (馬) <名> [老]

足が長いあめんぼうが水面を泳ぐ姿が馬に似ていることから。

- (5) 足長蜂 アシツツルシ (足吊るし) <名> [老]

長い足が吊るされているように見えることから。

- (6) 魚の鱗 コケ (苔) <名> [老]

III (植物)

- 19 馬鈴薯 ジャガタラ <名> [老]
 20 とうもろこし モロコシ <名> [老]
 21 いんげん ナリックラ (生りっくら) <名> いんげんの一種。[老]
 この種は長い期間生っていることによる。いんげんの総称はインゲン。
 22 そら豆 ナタマメ (鈍豆) <名> [老]

そら豆のさやの先が鈍のようにとがっていることから。

- 23 木くらげ ネコノミミ (猫の耳) <名> [老]

木くらげの形が猫の耳に似ていることから。

- 24 げんのしょうこ ゲンノショウコ <名>

- 25 どくだみ ドクダミ <名>

- 26 いたどり スッカンボ <名> [老]

- 27 からすうり カラスウリ <名>

- 28 すみれ スマイレ <名>

- 29 春蘭 ジジババ (爺婆) <名> [老]

- 30 母子草 ホトケノザ (仏の座) <名> ははこぐさ。[老]

「ほとけのざ」は物自体は知っているが名は知らないとのこと。

- 31 ねむの木 ネブタ <名> [老]

なぜネブタなのかは不明。ねぶた祭りのねぶたに由来するものであろうか。

[青]はオジギソー(お辞儀草)という。ねむの葉がしほむのお辞儀に見立てている。

- (7) つくし オトーカノチンボ <名> [老]

その形をオトーカ(狐)の陰莖に譬えている。

- (8) 草葛 ヘクサズル (屁臭蔓) <名> [老] 臭い匂いがすることから。

- (9) 大麦の穂 クロンボ (黒坊) <名> 大麦にできる黒い穂。[老]

小麦にはできないが大麦にはこのクロンボがよくできる。

- (10) えんどうまめ ブドーマメ (葡萄豆) <名> [老]

葡萄に形が似ていることから。

- (11) トマト アカナス (赤茄子) <名> [老]

- (12) おおばこ ゲーロッパ (蛙葉) <名> [老]

[青]はスモートリグサ(相撲取り草)という。この草を絡ませて引っ張りあいをする遊びから。

- (13) 蓬 モチグサ (餅草) <名> 餅の中に入れてよく食することから。

- (14) 女郎花 ボンバナ (盆花) <名>

お盆には仏様に決まって供える花であることから。

- (15) えのころぐさ ネコジャラシ (猫じゃらし) <名>

この草で猫をじゃらしたり、人にいたずらしたりした。

- (16) ひめじょおん・はるじおん ① ビンボーグサ (貧乏草) <名>

草取りを怠ると畑にたくさん生える草である。畑仕事を怠けて、その結果貧乏になると畑にはこの草がたくさん生えることになる、と言われている。[青]でもビンボーグサと言うが、この花をちぎって飛ばす遊びがあり、花が体にぶ

つかると貧乏になると言われている。

②テンチョーグサ (天長草) <名> [老]

この草は、作物より丈が高くなることから。[青]では②はないが、先に述べた遊びに由来するクビションパ (首ちょうんぱ) の名称が新しく生まれている。

(17) めしひば ハグサ (葉草) <名> 花が草のようであることから。

(18) おなもみ ヌスツグサ (盗っ人草) <名> [老]

[青]は、この実をバカ (馬鹿) あるいはバクダン (爆弾) という。この実はセーターなどによく付くので、飛ばして遊んだとのこと。

(19) 落ち葉 クズ (屑) <名> クズッパ (屑葉) とも。[老]

(20) 桑の実 クワイチゴ (桑苺) <名> [老]

その実が苺に似ていることから。ドドメともいう。

IV (性向)

32 熱しやすく冷めやすい人 ノテ <名> 調子に乗って先立ってなんでもする人。

33 あわてん坊 コジキノ モチヤキ (乞食の餅焼き) <句> 気短で忙しく物事をする人。[老]

34 動作の鈍い人 ①ノロマ (のろま) <名> ②ドンカン (鈍感) <名> ③ノレー (鈍い) <形> 鈍い様子。

35 嘘つき サンビャクダイゲン (三百代言) <名> [老]

資格がないのに、他人の訴訟等の取り扱いをする三百代言に替えている。

36 ほらふき ①テッポーウチ (鉄砲撃ち) <名> [老]

鉄砲は大きな音をたてることから。

②オーブロシキオ ヒロゲル (大風呂敷を広げる) <句> ほらをふく。

37 おしゃべり ①ホーソーキョク (放送局) <名> なんでも知っていてよくしゃべる人。[老]

②ツゲドリ (告げ鳥) <名> 耳にした話をすぐに他の人に話す人。
[老]

38 冗談言い ヒョーゲル <動> 冗談をいっておどける。[老]

39 口先だけの人 クチベーノ ヒト (口ばかりの人) <句> [老]

40 とんちんかんなことを言う人 ×

41 のらりくらり煮えきらない人 ×

42 怒りっぽい人 オコリッパヤイ (怒り早い) <形> [老]

43 気むらな人 オテンキヤ (お天気屋) <名>

お天気のように気が変わりやすいことから。

44 泣き虫 ナキムシ <名>

45 おてんば娘 オテンバ<名>

46 腕白坊主 アバレ(暴れ)<名> [老]

47 出しゃばり デシャバリ<名>

48 どこへでも顔を出す人 デスツパギ(出スツパギ)<名> [老]

49 家にこもって外出しない人 チャボットリ(矮鶏)<名> [老]

家の周りを歩き回っている矮鶏に替えている。

50 小心者 ①キョーコツネー(胸骨無い)<形> 気が小さいさま。[老]

②ハラガ チツチェー(腹が小さい)<句> 気が小さい。

③ハラガ スワツテ ネー(腹が座っていない)<句>

51 内弁慶 ウチツパダカリ(内はだかり)<名> ウチハダカリとも。[老]

52 人づきあいをしらない人、社交性のない人 ×

53 妻に対して頭の上がらない人 サブトン(座布団)<名> [老]

座布団は人の尻に敷かれることから。

54 けち ①シミツトレ(しみつたれ)<名> ②シワイ<形> けちなさま。

55 欲張り ①オテナガサマ(お手長様)<名> [老]

他人が持っている物をなんでも欲しがる人をいう。ちなみに、埼玉県には火の災から守ってくれる神様にオテナガサマがある。

(21) 短気 キモッキレ(肝切れ)<名> 短気な人。[老]

(22) 気前のよい人 オーファー(大風)<形動> 気前のよいさま。

(23) お風呂の短い人 トックリ(徳利)<名> [老]

酒のお燗をする時間ほどの長さしかお風呂に入っていない人を言う。

(24) 素性の判らぬ人 ウマノホネ(馬の骨)<名>

V (食生活)

56 大食漢 オーマクライ<名> [老]

57 ぼたもち ハンゴロシ(半殺し)<名> [老]

ぼたもちはもち米を半分程度ついて作ることから。ちなみに、全部つく餅はミナゴロシ(皆殺し)という。

58 砂糖味が薄い サトーヤガ トーイ(砂糖屋が遠い)<句>

59 塩味が薄い アジガ ウスイ(味が薄い)<句>

60 大酒飲み シッタナシ(底無し)<名> [老]

シッタは鍋などの「底」の意味。いくら飲んでも底無しであることから。

61 酒に酔ってくだをまく クダマキ<名> くだをまく人。[老]

62 酒に酔って顔が赤くなる、そのさま

キントキノ ヨーダ(金時のようだ)<句> [老]

VI (動作・様態)

- 63 恥ずかしくて顔が赤くなるそのさま
カオカラ ヒガ デル (顔から火が出る) <句>
- 64 どしゃ降りの雨 ドシャブリ<名>
- 65 ずぶ濡れ・びしょ濡れになる、そのさま ズブヌレ<名>
- 66 服装がだらしないさま ビショツクネー<形>
- 67 髭がのび放題なさま ブショーヒゲ (不精髭) <名>
- 68 厚化粧している人 アツカベ (厚壁) <名> [老]
厚い壁のように化粧をしていることから。
- 69 背丈の高い人 ノッポ<名>
- 70 出びたい ①オデコ<名>
②ヒョットコノ ヨーダ (ヒョットコのような) <句> [老]
- 71 汗がひたいから流れ落ちる
ラッキョノ ヨーナ アセ (辣蕪のような汗) <句> [老]
- 72 目を丸くする ハトガ マメデッポー クラックヨーダ (鳩が豆鉄砲を食ったよう
だ) <句> [老]
- 73 口をとがらす ①ヒョットコグチ (ひよっとこ口) <名> とがった口。 [老]
②クチオ ツノンギョースル (口をとがらす) <句> [老]
- 74 焦げ臭いにおい コゲクサイ<形>
- 75 遠回り (をす) トーマーリ (スル)
- 76 末っ子 ネコノシッポ (猫の尻尾) <名> [老]
〔備考〕 吉井町ではフクロッパタキという。
- 77 一生懸命頑張る セッコーガ イー<句>

VII (その他)

- (25) 藁草履 ヒヤメシゾーリ (冷や飯草履) <名> [老]
- (26) 月経 ハチペー (八兵衛) <名> [老]
- (27) 遠い親類 クサイ ナカ (臭い仲) <句> [老]
- (28) 返事がないこと ムジナ<名> [老]

まとめ

藤岡市中大塚方言の比喩語は、植物に、しかもそれらは畑や道端に生える、一般には雑草として一括されているものに多く認められた。農業を営む人々にとって、もっとも関心のあるものであり、また、子供の遊びにも使われるものが多いことに起因すると考えられる。

(しのぎれいこ 群馬県立女子大学)